

沼津アルプス 7 山 7 峠縦走ハイキング

開催日：2025年12月17日（水） 晴れ 23500歩 13.4km

集合：JR沼津駅7時30分 沼津駅南口伊豆箱根バス7番線長岡行き7時45分発乗車

コース：多比バス停→多比口峠登り口→①多比口峠→①大平山（標高356m）→多比口峠→②多比峠→
②鷲頭山（標高392m）→③小鷲頭山（標高330m）→③志下峠→④馬込峠→④志下山
（標高214m）→⑤志下坂峠→⑤徳倉山（標高256m）→⑥横山峠→⑥横山（標高183m）
→⑦八重坂峠→⑦香貫山（標高193m）→香貫山公園展望台→黒瀬人道橋→沼津駅

参加者：河野L 市村 風間 飯倉 4名

「最高峰の鷲頭山でも392m、低山ということで早朝出発ではあったが軽い明るい気持ちで沼津アルプスに向かった」と飯倉さんが語っていたように、私も同じような気持ちで沼津駅に降り立ちました。河野リーダーはコース検討準備の中で、風間さんは途中までですが歩いた経験があるので「厳しいコース」と認識していたようです。沼津市観光課の案内では「自分に合った登山口を選べるため、初心者から上級者まで多くの方に愛されている人気のハイキングコースです」と紹介しています。結果は「今まで経験したことがない過酷なハイキングが待っていようとは・・・ 這いつくばって登った岩だらけの急登、ロープに頼らなければ降りられないほどの急坂の鎖場、常に緊張を強いられるとともに体力の消耗も激しい。ロープを握る手に力が入る。そのようなアップダウンを繰り返しながらも時折立ち止まった時に望む駿河湾の素晴らしい景色が新たな力を与えてくれた。そして、最後の香貫山展望台の景色は沼津アルプスを踏破したという喜びを増長させてくれました」（飯倉さん）というような沼津アルプス7山7峠縦走でした。

河野リーダーは「16時30分に黒瀬へ着きたい」とコース設定。黒瀬人道橋へ16時22分に到着、沼津アルプスの起終点の黒瀬バス停は少し手前、8分前に着きました。沼津駅へ16時40分に到着、私の歩数計は2万3500歩、風間さんのスマホアプリでは累積標高差1100m、距離13.4kmでした。



小鷲頭山からの急峻な下りのロープ・鎖場

沼津駅 南口バス停7時45分～8時16分多比バス停～、多比口峠登り口

平塚駅6時20分発の沼津行きに乗車、ほぼ満席でしたが空席を見つけて座席確保。6時52分、根府川駅のところで日の出の写真を撮影。湯河原駅までほぼ満席、湯河原駅、熱海駅、三島駅で下車する人多く7時27分、沼津駅に到着。南口駅前にJR東海1周年記念(1988年)の機関車車輪が設置されていました。沼津駅開設は明治22年(1889年)。バス停へ、伊豆長岡駅行き7時45分発に乗車。市街地を抜けて一路南下、8時16分に海岸線の多比バス停で下車。晴れ、風なし。沼津アルプス表示板を見つけて、多比口峠登り口へ。上り道の住宅街を抜けてトイレ設置場所へ。今回、香貫山公園展望台までトイレなしです。



地元作業車転向用地～多比口峠～9時30分大平山(標高356m)

柑橘類の木や畑の地域の舗装道路を上って行くと表示板があり、右の登山道へ進みます。「地元作業車転向用地」と書かれた道標のところで小休憩と衣類調整。防水用ドラム缶に「沼ア北行」のペンキ書き、ここからは山道です。9時15分、多比口峠に到着。手作りの道標があり、鷲頭山・徳倉山とは反対方向に「大平山まで20分」の表示。水分補給をして9時18分に上り始めます。かなりの急登、山頂に近くなり大平山の名前のおりなだらかになり9時30分、大平山山頂に到着。12分で一気に上がってきました。木々が生い茂る間からスタート地点の多比バス停のところの港が見えました。



大平山9時35分～急峻な下り～多比口峠～10時32分多比峠

沼津アルプス最初の大平山を踏破して、山頂のベンチで一息入れます。9時35分、上って来た道を下ります。最初は緩やかな下りですが、次第に急峻な下りになり、足元に注意して多比口峠まで戻って来ました。ここは沼津アルプスハイキング北行きコースで最高峰の鷲頭山（標高392m）をめざします。尾根道の歩きやすいところもあれば、岩場の下り・上り、木々の間を通り抜けるなど変化にとんだアップダウンを繰り返しながら進んでいきます。急峻な下りの場所を下り切ったところに「多比峠」の道標が出てきました。時刻は10時32分、峠からは大平区戸ヶ谷地区に下山できます。鷲尾山までは12分と書かれています。



多比峠10時35分～ロープ場の急登～10時48分鷲頭山(標高392m)

水分補給をして10時35分、ロープ場の上り開始です。右方向に沼津市大平の街が一望できるところがいくつかありました。かなりの急登、ロープを持つ手に力も入ります。10時48分に鷲頭山山頂に到着、大きな御神燈が出迎えてくれました。多比峠からハードな13分間の上り、鷲頭山は沼津アルプス最高峰の標高392m。山頂には祠があり、柑橘が供えられていました。2グループが休憩中、私たちもベンチで小休憩。河野リーダーは地図を見つめてコース検討、ほぼ予定通り歩いているようですが・・・



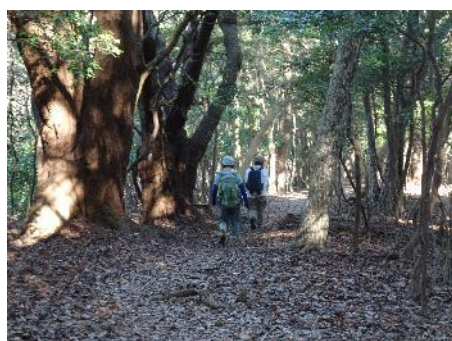
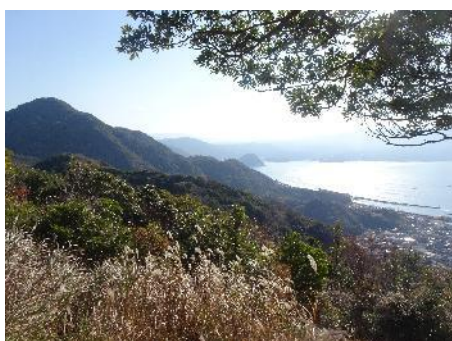
鷲頭山～小鷲頭山(標高330m) | 11時7分～11時26分 中将宮(標高193m)～志下峠

10時55分に鷲頭山をスタート、62m下って11時4分にコース3番目の山の小鷲頭山(標高330m)へ到着。風間さんが見つめる視線の先に駿河湾の景色が広がっています。休憩もそこそこに11時7分に下山開始、難関が待ち構えていました。ロープと鎖場の急峻な下りの連続、ロープ頼りの下りでロープを握る手に力が入ります。写真を撮る余裕なし、撮影はこの1枚だけ。息つく時間もなしの緊張の10数分、137m下って11時26分、標高193mの中将宮へ。水分補給をして一息、標高214mの志下峠・ぼたもち岩を経て11時37分、尾根道のところで昼食タイムとしました。



昼食12時～馬込峠～志下山(標高214m)～12時24分志下坂峠～しおみち広場

昼食が終わったところに地元のハイカー3人グループが上ってきて、あいさつをして追い抜いて行きました。私たちが午後のスタート、時刻は12時丁度。少し上ったところがきらら展望台、駿河湾の先に伊豆半島の西側地域が見えました。馬込峠を通過して奥駿河パノラマ台へ、ここからも駿河湾が一望できました。12時24分に志下坂峠へ、標高214mの志下山山頂標識は見落として通過してしまいました。少し上って千金岩見晴場へ、歩いてきた小鷲頭山から鷲頭山の山並みと駿河湾が一望できました。落ち葉を踏みしめながら平らな道を進んで行くと「しおみち広場」へ出ました。



香貫台分岐～13時7分徳倉山(標高256m)～13時43分横山峠

しおみち広場から10分ほど歩いて香貫台分岐へ出ました。ここからはロープ場の上り、13時7分に5番目の山徳倉山(標高256m)に着きました。昼食をとっていたときに追い抜いて行った3人グループが休憩中、「また会いましたね」とあいさつ。ランナーの人が上ってきて、富士山の絶景ポイントを教えてくれたので、木々の間から見える冠雪した富士山をパチリ。しばし景観を楽しんで13時13分、鎖場もある下りです。13時43分、標準コースタイムぴったりの30分で横山峠へ下りて来ました。



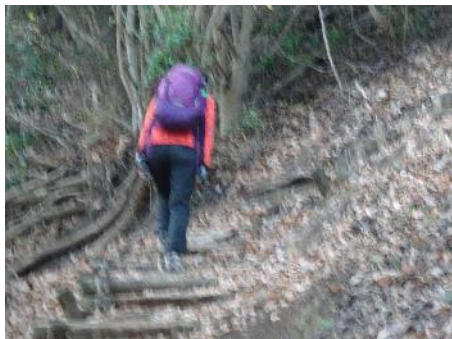
14時5分横山(標高183m)~八重坂峠~香貫山登山口

横山峠から少し上って14時5分、標高183mの横山へ到着。休憩なしでロープ場もある急峻な道を下りて、このコースはじめての自動車道へ出ました。時刻は14時36分、八重坂峠の道標が出ていました。横断歩道がないので左右を注意して道路を横断します。渡り切ったところに道標があり香貫山を示しています。山道を上り舗装道路に出たところに道標があり、香貫山は右方向を示しています。この日の気象情報で午後は風が風速6~7m/sと予報されていましたが、風がだいぶ強く吹くようになりました。5分ほど上って行くと右側に登山口がありました。舗装道路を直進すると香貫山公園展望台です。右の登山口へ入ります。ここからは最後尾を歩いてくれた飯倉さんが先頭、レンズを向けたら笑顔で手を振ってくれました。



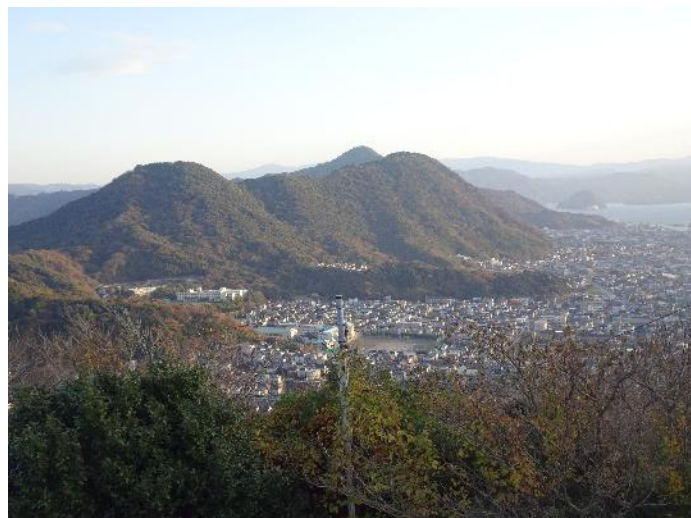
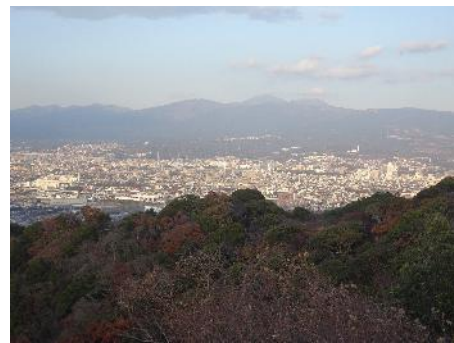
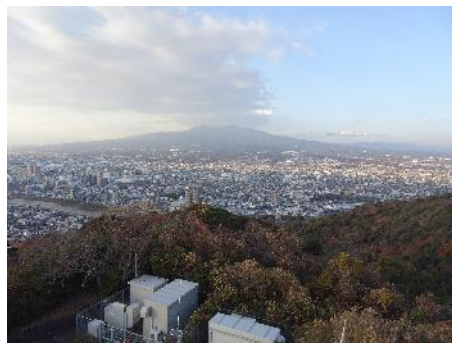
登山口～15時15分香貫山(標高193m) 7山7峠踏破

最後の7山目の香貫山をめざしての上り、10分ほど上ると山頂らしきところへ出て展望が開け、はるか前方にパラボラアンテナが見えました。飯倉さんと「この辺が山頂だね」と話していましたが、香貫山山頂を指し示す標識が出てきてもうひと上りです。15時15分、7山目の標高193mの香貫山に到着。少し前に見たパラボラアンテナのところが山頂でした。7山7峠を踏破して記念の写真撮影。山頂からは南方面に歩いてきた沼津アルプスの山並みが一望できて感慨ひとしおです。



香貫山山頂～香貫山公園展望台・360℃の大パノラマの絶景

香貫山を下りて香貫山公園展望台をめざして行きます。後ろに香貫山のパラボラアンテナが見え、前方に展望台が大きく見えてきました。展望台下のトイレでトイレタイムと小休憩。散歩中の地元年配男性としばし談笑。展望台へ上ります。突風で帽子が飛ばされそうです。上に立つと360℃の大パノラマの絶景です。狩野川の流れが駿河湾に流れ込み、駿河湾の海岸線が弓状に伸び、富士山には雲がかかっています。東に目を移すと箱根連山の神山と駒ヶ岳が展望できました。眼下には沼津市街地、南には横山、徳倉山、その奥の山は鷲頭山と思われます。この二つのパラボラアンテナ、東海道線の列車の車窓から見てみたいと思います。



慰霊平和塔の公園～16時22分黒瀬人道橋～16時40分沼津駅

少し冷え込んできて、みなさんウインドブレーカーやレインウェアを着て下山開始です。舗装道路の下り道、名残の紅葉をパチリ、慰霊平和塔のある公園まで下りて来ました。富士山を望める場所に若山牧水の「香貫山いただきに来て吾子とあそびひさしくをれば富士はれにけり」の歌碑が建立されていました。飯倉さんが「沼津駅までの穏やかな坂道を歩きながら、ふと振り返ってみたアルプスの山々が名残惜しそうに手を振ってくれた。私に少し前に進む勇気を与えてくれた沼津アルプス・・・またね!」と感想を寄せてくれた下り道を歩きます。住宅街を歩き狩野川に架かる黒瀬人道橋へ、時刻は16時22分。強い風が吹き抜ける黒瀬人道橋を渡ります。前方は沼津市街地、後ろには慰霊平和塔が見えました。冬至前のこの時期は日没が早く、薄暗くなった市街地を歩き16時40分、沼津駅前に着きました。アフター夕食懇親会は「お寿司が食べたい」で一致、お寿司屋さんへ。「沼津アルプスは一人で踏破するのは大変だと思います。河野リーダーをはじめみなさんのサポートがあったからだ」と感謝しています(飯倉さん)。「みなさんの『歩きたい』の後押しのおかげで、念願の沼津アルプスが実現できました。想像以上に厳しい山で驚きでした(河野さん)。「7月に南行きコースで志下峠まで歩いて下山、夏場で暑くてバテバテ。やっぱり涼しい時の方が登りやすいです。楽しかった&疲れた(風間さん) などなど話しは尽きず、楽しい時間はあっという間に過ぎました。



(市村記)